



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇11月2日～3日 救助技術講習会 (鞍ヶ池公園)

<http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>



平成25年度 中高龄安全登山指導者講習会 東部地区

平成25年度中高龄安全登山指導者講習会

愛知県で3日間に亘り開催!!

～遭難事故多発に対処し道迷い重点に～

平成25年度「中高龄安全登山指導者講習会・東部地区」(主催・日本スポーツ振興センター、国立登山研修所、日本山岳協会 共催・愛知県教育委員会 後援・文部科学省 主管・愛知県山岳連盟)が、9月27日から29日の3日間で愛知県民の森「モリトピア愛知」及び宇連山周辺に於いて行われ、24都道府県から受講者、スタッフ80名が参加した。

初日は、台風一過好天の下スタッフが9時県民の森に集合し、会場の準備に取りかかり、12時から受付が開始された。遠くは北海道からの参加者も揃い、13時まで37名の受講者に於いて、北村憲彦理事長の司会で開講式が始まった。

最初に渡邊雄三国立登山研修所所長が「平成元年に立山真砂岳の遭難事故が切っ掛けで、中高龄者の指導者養成と事故防止を目的にこの講習会が始まりました。以降、講習会は継続されていますが、登山者の増加と相俟って、遭難事故が増えつつあります。」

今回の講習内容は、読図とナビゲーションによる講義が重点になっています。どうか、3日間しっかり学んでいただき、事故防止にご尽力してくださることを願っています」と挨拶。

つづいて神崎忠男日本山岳協会会長は「今日は、受講生の皆様には遠路はるばるご苦労さまです。最近の登山事情が大きく変わってきています。海外では命にかかわる事件が起きています。」

私は「自然を大切に、仲間を大切に、命を大切に」を motto に年齢を自覚し、ユーモアと緊張感を持って、楽しい登山をしてほしいと思っています。また、日山協の方針として、精鋭登山・中高龄健康登山・競技登山を奨励しています。その他、未組織登山者の課題があります。そしてリーダーの方には、そういった人達を含め、指導して欲しいと思います」と語り、更に久保田竜弥教育委員会体育スポーツ課主任主査が激励の挨拶、安藤武典愛知山岳連会

長が歓迎の挨拶を述べて、開講式を終了した。

小休の後、13時30分より講義が始まった。

まず、村越真静岡大教育学博士の「道迷い防止のためのナビゲーションの考え方」で山岳遭難数の推移、年齢別態様数、道迷い遭難の実態について説明があり、道迷いの対処として①適切な行動・考え方②適切な装備③冷静な行動④地図記号・等高線を覚える⑤ナビゲーションの読図⑥コンパスを使う。などについてパーポイントを使って15時20分まで講義。

次に、小林巨国立登山研修所専門調査委員が「登山計画とナビゲーション技術の実際」と題し、地形図を使った登山計画とは、単に行程を作るだけではなく、現地での現在地把握の可能性、判断の材料をしっかりとさせ記憶するということが、計画書はその記憶を強化し、現地を確認するための覚え書きである。

地図やGPSを持っているだけではナビゲーションはできない！使わなければ、簡単に迷い込む。地図をもとに計画すること、絶対に見逃してはならないこと（間違えやすい場所、コースの方向が変わる場所など）をしっかりと記

憶に刻み込んでおく。など90分間にわたり講義があった。

最後に、上田歳彦気象予報士の「山岳遭難を防ぐための気象の基礎」で1.気象の基礎（大気の鉛直分布、不安定な大気と上昇気流、ジェット気流と気団、上空の気圧の谷と温帯低気圧の発達）2.天気団の見方と活用（地上天気図の見方と代表的な気圧配置、高層天気図の見方と予報への活用）3.まとめとして、楽しく安全に登るための準備と実践。を学び一日目の講義は終了した。

二日目、朝から引きつづき好天に恵まれ、モリトピア愛知から宇連山へ、9時から5班に分かれて読図の実技研修となる。

予め、昨日学習した復習で、



開講式で挨拶する渡邊所長

コンパスの使い方、コンパスを首からぶら下げない（何かに引っ掛かったり、足元が見づらい）地形図を見るタイミング、周りの風景をよく見る。など確認して出発し、各班ごとに間隔をおいて31ヶ所のチェックポイントを目指して登る。

16時30分、最後の班が帰着すると、暫くストレッチを行って入浴する。

18時30分から日本間に於いて夕食・情報交流会となる。挨拶、乾杯につづいて懇親が始まる。二日間の講義、実技について熱っぽく語ったり、地域の登山情報や話題など交えて賑やかな雰囲気がつづく。

参加者から「普段コンパスも地図も使わない。これほど見たことはなかった」「実技では丁寧に教わった。帰ってから読図講習会をやりたい」「地図上の予測と実際の場所とが一致したときには嬉しかった」などの声が聞かれた。

20時30分、和気あいあいのうちに情報交換会を終える。三日目、8時50分から各会議室で、研究協議・分科会が始まった。

第1分科会「中高年登山者のための安全登山に関する課題と改善について」（座長・岩瀬幹生 助言者・中平等新



講義中の村越氏

一）第2分科会「登山計画の立て方と事故防止について」（座長・吉村賢 助言者・高橋優）第3分科会「気象遭難の身近な事例と防止策について」（座長・上田歳彦 助言者・安藤武典）が、1時間半に亘って討議され、引きつづき11時から全体会が第1会議室で開かれ、それぞれの座長が討議の内容を発表した。

第1分科会では、出席者の多くは指導者の在り方、会員の高齢化に悩みを持っておりその取り組みについて話し合われた。また、指導員の活動の場が少ない、未組織登山者との対応、安全登山をいかに推し進めていくか、などについて意見発表があった。

第2分科会では、体力差を考慮した計画書作り、計画書は必ず家に一通置いていく、年に数回の勉強会を持つ、年

Renopoint
<http://www.renopoint.jp>
Original Wear & Goods
 オリジナルウェア・CMウェア（広告掲載）
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパーチ)
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renopoint.jp

うなぎ錦三丁目 いばしょう
いばしょう
 〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
 TEL <052> 951-1166 番
 営業時間 午前 11:00~午後 2:30
 午後 4:00~午後 8:00
 定休日 日曜日・第二・第三月曜日



実技前の準備体操

間計画を立て救急の対処策もやっておく、地図の持参、装備と事故防止について話し合った。

第3分科会は、アンケート用紙から課題をさぐり、入山時の天候判断をどうするか、寒さの予想や天候急変の事例を示し、山域によって気候が違ふこと、風上の天気を参考に判断して行動する。などについて討議した。

以上、発表が終わると閉講式に移った。

まず、受講者全員に修了証が授与され、代表して埼玉県の福田利之氏が受けとった。

つづいて、仙石富英日本山岳協会常務理事の講評があり「今回の講習会は、道迷いを重点的にした内容でしたが、皆さんが真剣に取り組んでお



各ポイントを地図で確認

られ、大変味のある素晴らしい講習会でした。どうか会に帰られましたら、3日間で得た知識を会の皆さんに是非伝えてください」と結び、渡邊雄二所長、安藤武典会長が閉講の挨拶を述べて、3日間に亘った講習会が滞りなく終了した。

(中平等新二)

講習会を終えて

遭難対策委員長
吉村 賢

中高年安全登山指導者講習会が9月27日(金)〜29日(日)に愛知県民の森・モリトピア愛知で行われました。受講者は北海道〜滋賀県までの37名。そして愛知岳連スタッフ30名

が参加しました。

今回の講習では、山岳遭難の原因で道迷いが多い点から読図を中心に構成しました。

初日は午後から講義が三つ行われ、「道迷い防止のためのナビゲーションの考え方」で村越真、「登山計画とナビゲーション技術の実際」で小林且より読図について講義がありました。村越さんは著書も多数ありその内容を解説してくれました。小林さんは地形図から尾根・沢の読み取りはもちろんですが、隠れピークやコルの見つけ方などを説明しました。

「山岳遭難を防ぐための気象の基礎」上田歳彦さんから、地上天気図はもちろんだが、上空の空気が大きく天気に影響することもあり、高層天気図を絡めた天気の読み方の講義がありました。

二日目の実技講習では、9時にモリトピア愛知を出発し、広場で準備体操をした後、5班に分かれ5分おきにスタート。地形図を片手に、徹底的に地形と見比べながら登りました。国体尾根から西尾根に上り、744mまでチェックポイントで読図のポイントを説明し、途中からは参加者からチェックポイントでの地形の特徴などを読み取ってもら

いました。広場に戻るとコンパス1・2・3の練習をしました。

夜は情報交換会を行い、各県の活発な交流があり、賑やかに過ごしました。

三日目は分科会を行い、第一分科会、第二分科会、第三分科会で1時間40分討議しました。その後、全体会で座長よりまとめの発表がありました。

全体会が閉講式終了後、参加者全員に修了証が授与されました。

今回の講習は、読図にポイントを絞り徹底的に読図を行うことで普段地図やコンパスをお守り代わりに持って行く参加者がほとんどで、活用まではなかなか出来なかったもので、良い経験になったと好評でした。



討議中の分科会

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店

OUTDOOR-GOODS PRO SHOP
MOUNT & STEREAALPINA
(旧シャッツバーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739
営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002
名古屋市中区丸の内3丁目1523番地 大栄ビル204号室

TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507

URL: <http://www.nygs-office.com/>

facebook: <http://www.facebook.com/nygs.office>

徹底した読図に緊張感

やまびこ山想会

西 千サ子

初日は、開講式のあと3つの講義がありました。午後1時の開始で6時30分まで続き、終わった時は短い秋の日は夜のとぼりの中でした。

28日は、秋晴れの快晴で今日は読図の実技講習会です。前日の講義をふまえての勉強会になりますが、みんな不安と期待で少し緊張気味のようなです。

9時ホテルを出発。広場で準備体操で体をほぐし、注意事項を受けて地図、コンパスを持ち、5班に分かれて宇連山へ向かいました。ポイントごとに講師の説明や質問に熱

心に耳をかたむけ、また答を見つけようと地図と地形を真剣に見る姿に、受講生の方々の真摯な気持ちがあはれと伝わってきました。講師の方々も質問に丁寧に応えてくださり、何度でも笑顔で対応されておりました。

道迷いによる遭難事故が多発している折、そのリスクを減らすためにも、日頃の山行でも地図を持ち読むことを習慣にすることが大事だと思います。緻密で徹底した今回の講習は、きっとみなさんの心に残ることでしょう。

下山後、広場で「地図読みワン・ツー・スリー」のメニューが用意されておりました。この体験は初めての人も多く、最初はウロウロしてましたが、

何回もやるうちに目標物にたどり着き、拍手して喜ぶ人もありました。

夜の懇親会では、夕食で他県の方々との情報交換も賑やかに、時のたつのも忘れ談笑の輪があちこちにできておりました。その中で今回の講習会について、沢山のお褒めの言葉を頂きました。「講習会とは何たるかを教えてもらいました」「こんな素晴らしい勉強会なら会費を幾ら出しても惜しくない」との感想には、本当に嬉しい限りでした。

29日、最終日の今日は3つの研究協議があり、希望の分科会に参加しての勉強会です。私は、第3分科会「気象遭難の身近な事例と防止策について」に入り、幾つかの課題

で活発な意見が交わされました。

こうして講習会は終了しましたが、今回勉強したことは、各々の山岳会に持ち帰って伝えてほしいものです。そして、少しでもリスクの減少に繋がればと思います。

役員、そしてスタッフのみなさんの協力と努力で、素晴らしい講習会になりました。この講習会にほんの微力ですが関わり、お手伝いできたことを嬉しく思います。

第2回鈴鹿山系連絡協議会が開かれます

昨年、鈴鹿山系における遭難事故が増えている折、少しでも減らそうと近隣8県に呼びかけ設けられた「鈴鹿山系連絡協議会」が行われます。

10月26日(土)と27日(日)の2日間、三重県菰野町「菰野町民センター」と朝明溪谷キャンプ場内の「朝明茶屋」で

1. 鈴鹿山系の遭難と自然保護の現状について
2. 各県の現状及び活動報告と課題
3. 今後の活動方針

以上の議題にもとづいて協議されます。

藤城・藤井組(山岳成年男子) V

リード競技も6位入賞する

東京で開催された第68回国民体育大会山岳競技で、愛知県成年男子がボルダリング競技で藤城大知選手と藤井快選手のペアが優勝に輝いた。また、リード競技でも6位

入賞した。成年女子は、ボルダリング予選に出場した三浦真理子選手、大羽望未選手のペアは12位、リード予選も14位となり惜しくも落選した。



名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002
名古屋市中村区名駅4-4-10
名古屋クロスコートタワー 1F
TEL 052-565-1417

安心して選べる三河地区のプロショップ

JR刈谷駅前

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL.0566(23)8611
定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00



登山用品豊富!

親子ふれあい登山教室

自然観察や水遊びで楽しい一日

常任理事 関谷 雅樹

親子ふれあい登山教室は、三重県山岳連盟と合同で開催し、愛知県から16名(内スタッフ8名)、三重県から20名(内スタッフ13名)の合計36名の参加者を得て、朝明茶屋をベースに実施された。

当日は、雨も心配され、7時頃より雨が降り出したが、受け付け開始の8時30分ころには雨もやみ9時に開会式を行った後、羽鳥峰にむかって行動を開始した。適宜休憩しながら自然観察、水遊びなども取り入れのんびり行動し、10時30分に羽鳥峰に到着、11時に同地を出発し、12時15分に帰着した。帰着したところでまた雨が降り出すという絶好のタイミングでの登山活動となった。

更衣の後、本部スタッフが用意してくれた焼きそばと流しそめんを元気に食べ、用意した昼食が完売したところで閉会式を行い、閉会式後も参加者がみんな沢で水遊びをし、楽しい一日を送ることができたのではないかと考えている。ただ、参加者が少なかつた

ことは残念であった。これは三重県も同じであり、今後、企画内容や方法について、工夫・改善をしていく必要があると思われる。

今年については成功裡に終わったと思うが、反省するべき点もいくつも出てきた。今

平成25年度日山協自然保護委員総会

自然保護委員長 杉本 三郎

9月14日から16日迄の3日間、埼玉県「県立小川げんきプラザ」で開催された、日山協自然保護委員総会に出席しました。

22都道府県より105名の参加があり、一日目は12時30分から委員長会議、13時30分から委員総会となり

1. 日山協自然保護委員会事業報告
2. 各連盟(協会)より活動状況報告
3. 大会スローガンの採択
4. 次回開催地は広島県山岳

回も、三重県からは、来年も是非一緒にやりましょう、との声を頂いたもので、今回の反省事項を今後に生かし、公益法人としての愛知県山岳連盟として、もつとも重要な事業の一つに育てていきたいと考えている。

最後に、今回の登山教室の開催に多大なご配慮及びご協力を頂いた、朝明茶屋さんに深く感謝を申し上げて報告を終わりたい。

連盟 杉本 三郎

など協議して一日目を終了した。

二日目は、9時から個別セッション及び全体会議、13時から小鹿野こども歌舞伎を鑑賞、14時から17時迄公開講演会が、次のように行われた。

- ①「ツキノワグマを通して見た山岳自然について」講師 泰野ビクターセンター館長 長縄今日子氏
- ②「山はみんなの宝」講師 山のECHO代表理事・上幸雄氏
- ③「知知夫国と嶽やま」講師 前日山協自然保護常任委員

浅見豊氏
三日目は、エキスカリオン。高尾山ゴーストに参加するが台風のため、高尾山登山口にて登らずに大会は終了宣言する。

〔感想〕平成25年度に日本山岳協会が公益法人化したことを記念して、公益活動として従来の自然保護委員総会を継承し、総合的、全国的な新しいタイプの集いとして、公開芸能(小鹿野こども歌舞伎)公開講演(3題)を実施されました。また大会期間も3日間として、個別セッション、モーニングウォーク、ナイトフォーラムが実施され、大変有意義な大会でした。

第34回自然観察会のご案内

日時 11月10日(日)

場所 鈴鹿・お金明神 集合場所及時間 朝明大駐車場、午前8時

テーマ 鈴鹿の自然8時20分～15時まで

登山ルート 朝明駐車場→県境稜線→神崎川→お金明神を往復。

募集人員 20名

参加資格 愛知岳連登録会員

参加費 500円(当日集金)

講師 鈴木行薫氏(やまびこ)

持ち物 雨具、行動食・水他

申し込み締切 11月1日厳守

申し込み先 杉本三郎 (090・2614・1875)

第17回遭難を考える講演会

日時 11月29日(金) 午後7時より

場所 愛知県スポーツセンター大会議室

講師 大城 和恵 氏(医学博士)

国際山岳医日本人初の資格取得、日本登山医学会認定山岳医研修会実行委員兼講師、現在心臓血管センター北海道大野病院に勤務。

内容 はじめに、人体の極限を究めた三浦雄一郎氏のサポートの様子をお話し、高齢者登山をより安全に導くための経験を述べる。次にこれからの時期に発生が予想される低体温症や雪崩埋没に遭遇した場合の対処方法を解説し、北海道警察山岳遭難救助アドバイザーとしての経験を事例から紹介します。

参加無料 どなたでも聴講できます

主催 愛知県山岳連盟遭難対策委員会

常任理事会

- ▼10月1日(火) OMCビル
〔出席者〕安藤会長、中平等、伊藤、高橋副会長、杉本(憲)、岩瀬副理事長、丹羽、椋山、杉本(三)、吉村、高木、関谷各常任理事
- I 報告事項
 1. 全国高校総体(8/2)
 2. 大分・九重山系
 3. 第2回気象講習会(9/8 豊川高校)
 4. 高体連夏季大会(8/19 21県民の森・海老沢)
 5. 県民登山教室説明会(9/10 県スポ) 岩瀬
 6. 自然保護委員総会(9/14 16 埼玉) 杉本(三)
 7. 中高年安全登山指導者講習会(9/27 29 県民の森) 吉村
 7. その他
 1. II 審議・お知らせ事項
 1. 第68回東京国体(9/30 10/2 東京) 杉本(憲)
 2. 県民登山教室(10/5 朝明) 根平峠(ブナ清水)
 3. 第2回登山勉強会(10/8 県スポ、10/15 東三)
 4. 秋期登山講習会(10/26 27 釈迦ヶ岳)
 5. 救助技術講習会(11/2 3 くらが池公園) 高木
 6. 第52回全日本登山大会(11/8 10 茨城)
 7. 高体連新人大会(11/9 10 釈迦ヶ岳)
 8. 第34回自然観察会(11/10 鈴鹿お金明神) 杉本(三)
 9. 自然保護委員会(11/12 県スポ) 杉本(三)

- 10. 第3回日山協理事会(11/17 東京)
- 11. 遭難を考える講演会(11/29 県スポ)
- 12. 第1回Jrクライミング記録会(12/14 キューブ)
- 13. 冬山遭難対策会議(12/19 県スポ) 高橋
- 14. 指導員集会(1/7 東三 1/21 県スポ)

冬山遭難対策会議

日時 12月19日(水) 19時30分
場所 県スポーツ会館

予告

第42回岳連スキー大会&スノーシューの集い

期日 26年2月15日(土) 16日(日)
場所 ウイングヒルズ白鳥(スキー) イトシロシヤロッタウン(スノーシュー)
※詳細については後日発表。奮ってご参加ください。

やまびこ山想会が創立25周年記念式典

10月6日(日)午後1時よりホテル・ルブラ王山に於いて行われ、85名が出席した。当岳連から安藤会長、関谷常任理事が出席し、安藤会長

が祝詞を述べた。式典の後、祝賀会が催されアトラクションでチェロの演奏、マジックショーが行われ、賑やかな雰囲気の中、和気あいあいのうちに終了した。



式典会場

指導部勉強会

10月8日(火)県スポーツ会館で行われた。高木常任理事(指導)が担当して、主に次の事項について勉強した。

◎山岳遭難救助(概要)
事故、病気により自力下山できない状況となった人がでた(遭遇した)ときの対応。

◎搬送場所
1. 登山道を使用して搬送する。2. 岩場・沢などでロープを使用する。

背負い搬送・簡易担架・介助懸垂など、要救助者を下部に吊り降ろす。要救助者を上部に引き上げる。などについて学んだ。



今年の夏は、酷暑がつづいた。とてもじゃないが低山では堪えられない。だが、アルプスも人の多さで暑かった。

■岳連ニュース編集集中に東京国体で成男ボルダリーVの朗報が入った、思わず喝采。(N)

月日	内容
11. 5	常任理事会 (OMCビル)
11.10	第34回自然観察会 (鈴鹿・お金明神)
11. 9~10	高体連・新人大会 (釈迦ヶ岳)
11.12	自然保護委員会 (県スポーツ会館)
11.29	遭難を考える講演会 (県スポーツ会館)
12. 3	常任理事会 (OMCビル)
12.14	第1回Jrクライミング記録会 (キューブ)
12.19	冬山遭難対策会議 (県スポーツ会館)

◆11・12月スケジュール

観光庁長官登録旅行業第490号/社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ちしております

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211
〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ <http://www.alpine-tour.com>

CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設

モンタニア

<http://climbing-park.com> ☎0532-26-3737
住所: 愛知県豊橋市関屋町138番地

MONTANIA
モンタニア

住所: 愛知県豊橋市萱町5番地 ☎0532-55-0125 <http://www.montania.jp>